

第 17 回 G X 実行会議への意見

日本商工会議所 会頭 小林 健

わが国の G X 推進に向けて、地域・中小企業の観点から、以下のとおり意見を申し上げる。

1. 資源・エネルギー供給体制の強化と適切な価格転嫁支援について

- 今般の中東危機に伴う原油・ナフサ等の供給不足に対する代替調達と「POWER Asia (パワー・アジア)」の取組みに関して、政府の迅速な対応に感謝申し上げる。
- 現在、原材料価格の高騰が問題となっている。エネルギー需給構造の強化とともに、適切な価格転嫁に向け、政府の支援をお願いしたい。

2. 原子力の活用について

- 資源の乏しいわが国において、G X を実現するには、原子力の更なる活用が不可欠。
- 安全性確保を大前提に、既設炉の早期再稼働を加速するとともに、新設・リプレース、バックエンド対策など、政府が前面に立った取組の推進をお願いしたい。

3. 中小企業における G X 推進について

- 中小企業における G X 推進には、コスト削減にも直結する「省エネ」が第一歩となる。
- 日商調査 (※) でも、政府に期待する脱炭素支援は、「省エネ設備等に対する資金支援」が最多。手厚い予算措置をお願いしたい。

以上

(※) 2026 年 7 月 16 日公表「2026 年度中小企業の脱炭素に関する実態調査」

<https://www.jccci.or.jp/news/research/2026/0716140000.html>